

平成29年度「福島県学力調査」結果について 《小学校第5学年》

福島県教育委員会

1 調査趣旨

全県的な規模で児童生徒の学習の実現状況を調査し、学習指導上の課題及び学習指導の改善点を明らかにし、各学校等における指導の改善に資するとともに、学習・生活習慣及び意識等と学力との関連性を分析し、学校を中核としながら地域や保護者と連携して学力向上に取り組む基盤づくりを図る。

2 実施日程

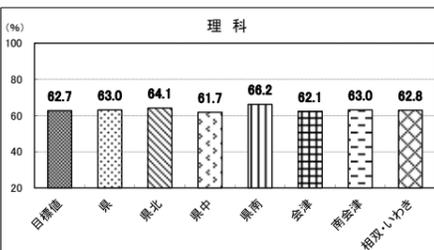
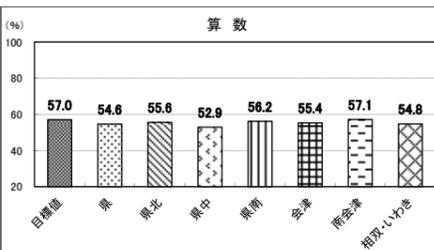
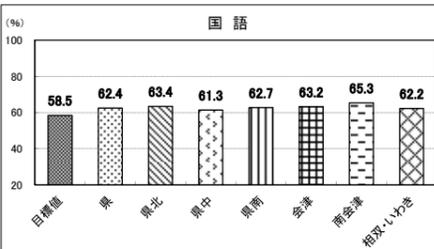
平成29年11月6日(月)～10日(金)

3 受検人数及び調査時間(小5)

【受検人数】			
国語	算数	理科	意識
15,156	15,154	15,157	15,165

【調査時間】			
国語	算数	理科	意識
45分	45分	45分	30分程度

4 生活圏別教科平均正答率



5 結果の概要

※目標値：学習指導要領に示された内容について標準的な時間をかけて学んだ場合に、正答できることを期待した児童の割合。

1) 国語

①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	62.4	58.5

教科全体の平均正答率は62.4%で、目標値を3.9ポイント上回っている。

②カテゴリー別正答率 (%)

分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	62.4	58.5
	知識	64.6	63.6
	活用	59.0	50.6
領域	話すこと・聞くこと	50.5	45.0
	書くこと	63.2	51.0
	読むこと	57.6	59.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.6	66.4
観点	国語への関心・意欲・態度	56.5	50.6
	話す・聞く能力	49.2	45.7
	書く能力	56.6	50.7
	読む能力	56.5	57.0
	言語についての知識・理解・技能	72.1	65.3

領域別平均正答率では、三つの領域で目標値を5.2～12.2ポイント上回っているが、「読むこと」は下回っている。観点別平均正答率でみると、四つの観点で目標値を上回っているが、「読む能力」は下回っている。

2) 算数

①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	54.6	57.0

教科全体の平均正答率は54.6%で、目標値を2.4ポイント下回っている。

②カテゴリー別正答率 (%)

分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	54.6	57.0
	知識	59.3	62.1
	活用	38.3	39.2
領域	数と計算	55.9	58.3
	量と測定	61.3	62.5
	図形	38.3	51.7
	数量関係	55.4	52.0
観点	算数への関心・意欲・態度	46.5	46.7
	数学的な考え方	42.8	46.7
	数量や図形についての技能	59.7	59.8
	数量や図形についての知識・理解	56.5	59.8

領域別平均正答率では、「数量関係」は目標値を3.4ポイント上回っているが、「数と計算」「量と測定」「図形」は1.2～13.4ポイント下回っている。観点別平均正答率でみると、すべての観点で目標値を下回っている。

3) 理科

①集計結果 (%)

	県	目標値
平均正答率	63.0	62.7

教科全体の平均正答率は63.0%で、目標値を0.3ポイント上回っている。

②カテゴリー別正答率 (%)

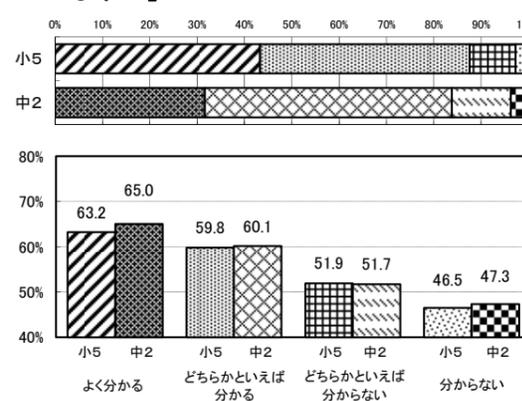
分類	区分	県	目標値
知識・活用	教科全体	63.0	62.7
	知識	67.7	67.5
	活用	49.0	48.1
領域	物質・エネルギー	52.1	55.4
	生命・地球	71.5	68.3
観点	自然事象への関心・意欲・態度	58.3	57.1
	科学的な思考・表現	54.0	56.1
	観察・実験の技能	65.0	63.3
	自然事象についての知識・理解	67.9	66.3

領域別平均正答率では、「生命・地球」は目標値を3.2ポイント上回っているが、「物質・エネルギー」は3.3ポイント下回っている。観点別平均正答率でみると、三つの観点で目標値を1.2～1.7ポイント上回っているが、「科学的な思考・表現」は2.1ポイント下回っている。

4) 意識調査

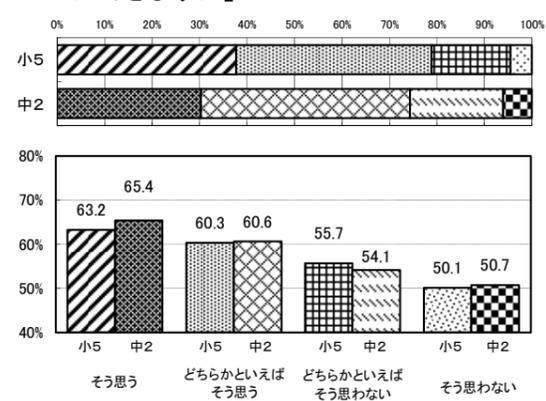
※⑤、⑥の2項目については、裏面に記載。
※帯グラフは各選択肢の割合。縦棒グラフは各選択肢を選んだ集団ごとの全教科の平均正答率(小：3教科、中：4教科)。

①「授業で、何を学習するか、何ができればよいかなど、めあてや課題が分かっていますか」



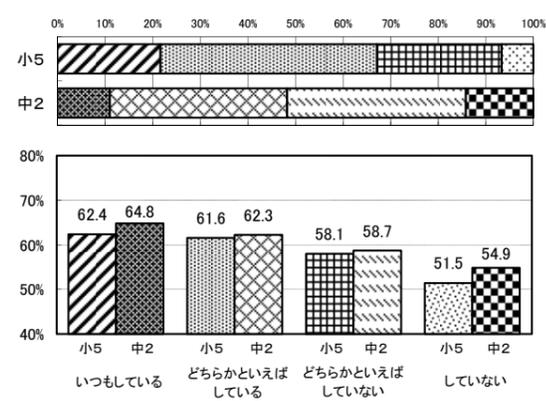
授業でめあてや課題が「よく分かる」「どちらかといえば分かる」と学習課題を把握している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。「よく分かる」と「分からない」との差は、小学校で16.7ポイント、中学校で17.7ポイントである。

②「授業で学級の友達と話し合うと、話し合う前よりもよい考えや新しい考えをもつことができますか」



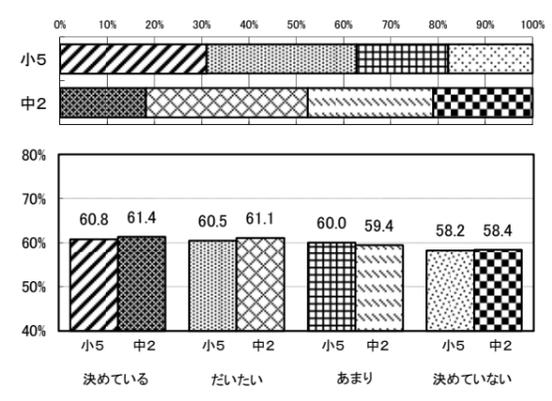
授業で友達と話し合うと、よい考えや新しい考えをもつことができることについて「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と肯定的に回答している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。「そう思う」と「そう思わない」との差は、小学校で13.1ポイント、中学校で14.7ポイントである。

③「授業では、学習したことを振り返り、自分の言葉でまとめていますか」



授業で学習したことを振り返り、自分の言葉でまとめることを「いつもしている」「どちらかといえばしている」と肯定的に回答している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。「いつもしている」と「していない」との差は、小学校で10.9ポイント、中学校で9.9ポイントである。

④「1日の勉強時間はこれくらいと、めやすを決めていますか」



1日の勉強時間はこれくらいと、めやすを「決めている」「だいたい決めている」と肯定的に回答している児童生徒の方が、平均正答率が高い傾向にある。「決めている」と「決めていない」との差は、小学校で2.6ポイント、中学校で3.0ポイントである。